

ふうしゅてんけい

# 風趣点景

管内四季だより①



## 「雨後の水ばしょう」

西和賀町沢内(蛭山ミズバショウ群生地)

写真・文/高沢 翔

西和賀町をメインに風景写真を撮っている写真家。

ホームページ「高沢翔写真館」<http://esuke.sakura.ne.jp>

撮影データ(デジタルカメラ) 4月下旬  
ISO感度: 200 絞り: f16 露出補正: +0.3

今号から当管内の四季の風景を紹介します。

西和賀町の水ばしょうで知られる蛭山ミズバショウ群生地。見頃の季節には見物客やカメラマンが多く訪れます。写真を撮られる方の中には、霧が出るのを期待して早朝より来られる方もいますが、近くの私でもなかなか出会えません。

この日は朝から雨でしたが、夕方には雨が上がり山すそに霧が出てきました。急ぎ現地に駆けつけ撮影した一枚です。

**早**くサクラが咲かないかなあと心待ちにする今日この頃。私たち日本人は、サクラの花が咲き乱れる豪華さと、悲しくも潔く散る姿に心惹かれるのだろうか。日本で一番多いサクラ、ソメイヨシノは樹齢が約80年。そのうち樹齢15年、50年が最も花付きが良いことから、人間の一生に例えられることもある。私がサクラを好きなもう一つの理由。それは、春生まれだからだろう。もうすぐ二十歳。私を持っている。サクラが、今より更に咲き誇る日を夢見て…「佐藤

**ち**よっとした時間があると、紙の上でタイムスリップをして遊ぶ。未来の風景や近未来便利道具、未来で起きている問題の対処法などを報告書風にまとめる。頭がおかしくなった訳ではない。単なる時間潰しだ。でも、そこには10年後にしっかりと生きていく為に今すべき課題が溢れ、仲間や家族や大切な人達がいって…そしてJAがいた。仕事人間にはなりたくないけど、仕事と此処で出会った人々が、自分の描く未来に当たり前のように存在するって幸せなことだ。未来に誇れる仕事を、そして未来の自分に後悔させない今を生きていこう。「大内」



## 編集後記

From Editor's

